エコクラテツフロア施工の手引き

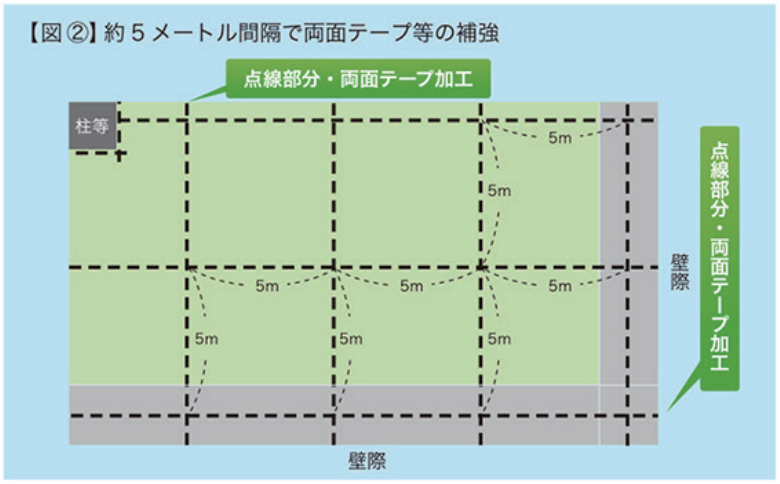
① 下地の点検・準備
- 床材は室温（15℃以上）に良く馴染ませてから施工してください。冬季などにタイルと室内に温度差があるまま施工すると、施工後に目地隙や突き上げ等を起こすおそれがございます。
- 下地はよく乾燥していることをご確認ください。

② 下地の点検・清掃
- 施工下地が平滑で堅牢であることをよく確認してください。平滑でない場合は不陸調整を行ってください。
- 石膏ボードの削りかすや、ゴミ等をよく取り除いてください。これらの異物がタイルと下地の間やタイル同士の間に挟まると目地隙や浮き上がりの原因となり、仕上がりに悪影響を及ぼします。

③ 割り付け
- 基準墨出、割付の実施。貼り仕舞いに小さなサイズの床材が入らないように割付を行ってください。

④ 床材施工

両面テープ施工の場合
- 既存床（フローリング等）を下地として重ね貼りを行う際に有効な工法です。
- 壁際、柱周り、出入り口、端部等は床材用の両面テープで固定してください。
  また、一辺が 5 メートルを超える現場では 5 メートル間隔で固定してください。（下図参照）



ピールアップ工法の場合
- ピールアップ接着剤もご使用いただけます。
- ピールアップ接着剤の使用方法及び注意事項は各接着剤ごとに定められたものをご確認ください。

その他の工法
- 完全接着工法も可能です。（塩ビタイル用の接着剤をご使用ください。）

⑤ 施工後の点検
- ずれている箇所や浮いている箇所がないか確認を行ってください。

⑥ 仕上・清掃
- 現場を清掃していただき完成となります。

工法 / 下地の種類	新規 ピールアップ接着剤塗布	改修　※1 ピールアップ接着剤残存	両面テープ使用 簡易置き敷き工法　※3
既存床材　※2（塩ビタイル、塩ビシート、木質フローリング）	○	○	○
二重床（金属系、コンクリート、樹脂系）	○	○	×
コンクリート、モルタル	○	○	×
合板	○	○	×

※1　改修時、残存床材（タイルカーペット等）を取り除いた後のピールアップ接着剤が粘着力を保有していることをご確認ください。
※2　下地とする既存床材に反り、浮き、めくり上がりが無いことをご確認ください。
　　無垢フローリングや石材を下地として施工することはできません。
※3　両面テープを使用した置き敷き工法は、原状回復工事の簡便性を優先した簡易工法です。
　　ピールアップ接着剤を使用した工法に比べて目地隙や目違いが起こりやすくなります。

◆ 施工できない箇所
平滑・堅牢でない下地、不陸のある下地、湿気を含む下地、また下記の箇所は性質上不向きなため施工できません。
例：畳、カーペット、防音フローリング（L45 等）、無垢フローリング、石材、屋外、軒下、床暖房

◆ 両面テープ・ピールアップ接着剤について
- 両面テープは幅 25mm 以上、厚さ 0.5mm 以下の製品をご使用ください。
- ピールアップ接着剤の使用方法及び注意事項は各接着剤ごとに定められたものをご確認ください。
- 両面テープと接着剤は弊社ではお取り扱いしておりません。市販品をお求めの上ご使用ください。